

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 ムトー精工株式会社
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇
 (氏名) 金子 貞夫

上場取引所 東
 TEL 058(371)1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,367	9.4	△42	—	55	—	25	—
27年3月期第1四半期	4,904	△21.6	△303	—	△284	—	△274	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 254百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △506百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.49	—
27年3月期第1四半期	△38.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	24,868	—	15,418	—	—	58.4
27年3月期	24,574	—	15,221	—	—	58.4

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 14,516百万円 27年3月期 14,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	4.6	170	—	170	—	100	—	13.91
通期	22,700	0.8	570	—	570	—	420	—	58.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	7,739,548 株	27年3月期	7,739,548 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	552,547 株	27年3月期	552,547 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	7,187,001 株	27年3月期1Q	7,187,113 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高や原油安を背景に、大企業での収益改善や訪日外国人による消費増加が見られ、前年度と同様に回復傾向にあります。その一方で、物価の上昇により個人消費は伸び悩んでいるほか、中小企業はコスト増に直面しており、景気の回復は依然として限定的なものとなっております。

世界経済は、先進国を中心に回復傾向にあります。しかし、ギリシャの債務問題や中国の株価下落・経済失速など、先行き不透明な国外情勢が続いており、各国経済への影響が懸念されております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、スマートフォンや外国人観光客への家電の販売が好調でしたが、スマートフォン向け部品の輸出や製造は伸び悩みが見られます。自動車関連においては、4月の軽自動車税増税に伴う駆け込み需要とその反動から国内販売が減少したほか、米国向けが好調だった輸出も減少に転じております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、付加価値の高い金型外販の強化や新たな医療分野における受注に加えて、主に中国と日本にて前連結会計年度末に実施した生産合理化に伴う配置転換や人員削減等の固定費削減効果により、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は53億6千7百万円と前年同四半期と比べ4億6千3百万円(9.4%)の増収、営業損失は4千2百万円(前年同四半期は3億3百万円の営業損失)、経常利益は5千5百万円(前年同四半期は2億8千4百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千5百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億7千4百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、低迷するデジタルカメラやビデオカメラ関連部品、電子ペンが減少する一方、販売強化による金型売上への増加や、血圧計や血糖値計など新たな医療分野における受注、高単価な一眼レフカメラ部品の大量受注により、当第1四半期連結累計期間における売上高はセグメント間の内部売上高を含めて47億円と前年同四半期と比べ3億9千7百万円(9.2%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は4千8百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2億7千万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、引き続きデジタルカメラの販売が低迷する中、量産品については横ばい状態が続いておりますが、金型や新規立上げ機種への受注増加に加えて、新規顧客の開拓により新たな分野として医療関連部品やモバイル向け蓄電用部品を受注いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6億4千7百万円と前年同四半期と比べ8千8百万円(15.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)4千1百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計業務にて、パソコン等の電子機器に使用される高密度の電子回路基板(パッケージ基板)の配線設計は、当第1四半期連結累計期間において受注を大きく減らしましたが、検査業務におきましては、半導体関連のテスター基板や時計の基板、モジュール基板の検査が順調に売上を伸ばしました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて7千万円と前年同四半期と比べ6百万円(8.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年同四半期と比べ7百万円(81.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億2千2百万円増加し、148億1千4百万円となりました。受取手形及び売掛金が3億7千7百万円、仕掛品が1億3千8百万円、原材料及び貯蔵品が1億5千4百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5億6千万円、電子記録債権が1億9千9百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億2千8百万円減少し、100億5千4百万円となりました。有形固定資産が1億4千6百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億9千4百万円増加し、248億6千8百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億6千3百万円増加し、74億1千2百万円となりました。短期借入金が1億1千1百万円、1年内返済予定の長期借入金が4千2百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6千5百万円減少し、20億3千7百万円となりました。役員退職慰労引当金が8千万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加し、94億5千万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億9千6百万円増加し、154億1千8百万円となりました。その他有価証券評価差額金が4千4百万円、為替換算調整勘定が1億6千3百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)、通期)及び配当予想(第2四半期末、期末)につきましては、平成27年5月15日にて公表いたしました「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,853,417	4,293,117
受取手形及び売掛金	4,124,360	4,502,278
電子記録債権	678,267	479,085
有価証券	202,005	743,509
商品及び製品	1,196,303	1,156,703
仕掛品	1,076,537	1,214,951
原材料及び貯蔵品	1,563,366	1,717,548
未収入金	274,352	301,968
繰延税金資産	39,044	47,356
その他	385,336	358,937
貸倒引当金	△1,337	△1,337
流動資産合計	14,391,654	14,814,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,120,980	3,068,923
機械装置及び運搬具(純額)	3,520,653	3,422,991
土地	1,566,834	1,561,030
建設仮勘定	186,711	228,708
その他(純額)	865,622	832,252
有形固定資産合計	9,260,802	9,113,906
無形固定資産	296,438	290,322
投資その他の資産		
投資有価証券	328,574	343,341
繰延税金資産	2,238	2,211
その他	297,274	307,444
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	625,202	650,113
固定資産合計	10,182,444	10,054,343
資産合計	24,574,099	24,868,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,771,962	2,707,146
短期借入金	2,565,077	2,676,901
1年内返済予定の長期借入金	977,194	1,019,695
未払法人税等	63,911	67,684
賞与引当金	177,287	145,559
その他	693,830	795,758
流動負債合計	7,249,263	7,412,744
固定負債		
長期借入金	1,679,417	1,684,806
繰延税金負債	24,841	25,000
役員退職慰労引当金	197,440	117,095
退職給付に係る負債	196,110	206,695
その他	5,835	4,094
固定負債合計	2,103,644	2,037,692
負債合計	9,352,907	9,450,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,268,479	9,236,058
自己株式	△397,670	△397,670
株主資本合計	13,295,481	13,263,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,518	137,881
為替換算調整勘定	952,884	1,116,037
その他の包括利益累計額合計	1,046,403	1,253,919
非支配株主持分	879,305	901,045
純資産合計	15,221,191	15,418,025
負債純資産合計	24,574,099	24,868,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,904,524	5,367,970
売上原価	4,465,289	4,629,050
売上総利益	439,234	738,919
販売費及び一般管理費	742,681	781,679
営業損失(△)	△303,446	△42,760
営業外収益		
受取利息	8,528	8,405
受取配当金	3,284	2,663
為替差益	6,908	84,649
その他	9,681	9,677
営業外収益合計	28,402	105,397
営業外費用		
支払利息	9,293	7,311
その他	-	7
営業外費用合計	9,293	7,319
経常利益又は経常損失(△)	△284,337	55,317
特別利益		
固定資産売却益	145	65
特別利益合計	145	65
特別損失		
固定資産除却損	205	63
投資有価証券売却損	450	-
特別損失合計	655	63
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△284,848	55,319
法人税等	13,059	24,276
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,908	31,042
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,353	5,968
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△274,555	25,074

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,908	31,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,416	44,362
為替換算調整勘定	△220,932	178,924
その他の包括利益合計	△208,516	223,287
四半期包括利益	△506,424	254,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△469,332	232,589
非支配株主に係る四半期包括利益	△37,091	21,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,288,224	542,536	73,763	4,904,524	—	4,904,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,610	16,499	3,242	35,353	△35,353	—
計	4,303,834	559,036	77,006	4,939,877	△35,353	4,904,524
セグメント利益又は損失(△)	△270,805	△41,251	8,610	△303,446	—	△303,446

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,692,574	608,070	67,325	5,367,970	—	5,367,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,325	39,342	3,398	51,067	△51,067	—
計	4,700,900	647,413	70,724	5,419,038	△51,067	5,367,970
セグメント利益又は損失(△)	△48,122	3,804	1,557	△42,760	—	△42,760

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。